

\* 実績 (著書等)

著書

- 2011 波多野隆介: 窒素沈着と炭素流出の環境影響。農業由来のアンモニア負荷-その環境影響と対策-日本土壌肥料学会編、138-156、博友社、東京、2011  
Hatano, R.: Greenhouse gas fluxes: effects of physical conditions. J. Gliński, J. Horabik and J. Lipiec (eds) Encyclopedia of Agrophysics, Springer, 2011 (in press).
- 2010 波多野隆介: 10 土壌と地域、岡崎正則・木村園子ドロテア・波多野隆介・豊田剛己・林健太郎著、[図説]日本の土壌、朝倉書店、2010  
波多野隆介: 7土壌から人へ、岡崎正則・木村園子ドロテア・波多野隆介・豊田剛己・林健太郎著、[図説]日本の土壌、朝倉書店、2010  
波多野隆介: 2生物を育む土壌、7土壌から人へ、10 土壌と地域、岡崎正則・木村園子ドロテア・波多野隆介・豊田剛己・林健太郎著、[図説]日本の土壌、朝倉書店、2010
- 2007 波多野隆介: 2-3-2 土壌溶液・地下水、実験化学講座 20-2、環境化学、丸善株式会社 pp130-141、2007  
波多野隆介: 2-3-1 土壌、実験化学講座 20-2、環境化学、丸善株式会社 p112-129、2007  
波多野隆介: 1-3-2 土壌の役割、実験化学講座 20-2、環境化学、丸善株式会社 pp25-27、2007  
波多野隆介: 1-3-1 土壌の成り立ちと構成、実験化学講座 20-2、環境化学、丸善株式会社 pp23-24、2007
- 2006 波多野隆介: 地域を巡る窒素の循環と環境への流出、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター編: フィールド科学への招待、三共出版、p90-97、2006  
波多野隆介: 食料問題と環境問題、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター編: フィールド科学への招待、三共出版、東京、p10-20、2006  
波多野隆介: 農業と食料消費における窒素循環と持続可能性、出村克彦・但野利秋編、中国山岳地帯の森林環境と伝統社会、北海道大学出版会、札幌、p155-179、2006  
波多野隆介: 地域を巡る窒素の循環と環境への流出、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター編: フィールド科学への招待、三共出版、p90-97(2006)  
波多野隆介: 食料問題と環境問題、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター編: フィールド科学への招待、三共出版、東京、p10-20(2006)  
波多野隆介: 農業と食料消費における窒素循環と持続可能性、出村克彦・但野利秋編、中国山岳地帯の森林環境と伝統社会、北海道大学出版会、札幌、p155-179(2006)
- 2005 波多野隆介: 河川への窒素流出測定による流域の窒素循環評価、波多野隆介・犬伏和之編、続・環境負荷を予測するーモニタリングとモデリングの発展ー、日本土壌肥料学会監修、p43-57、博友社、東京(2005)  
波多野隆介: 第9章 北海道旭川地域における炭素のストックとフロー、木村真人・波多野

- 隆介編, 土壌圏と地球温暖化, 名古屋大学出版会, 名古屋, pp 167-190(2005)
- 波多野隆介: 第7章 畑地における土壌呼吸と炭素収支—北海道道央のタマネギ畑における例, 木村真人・波多野隆介編, 土壌圏と地球温暖化, 名古屋大学出版会, 名古屋, pp 123-138, (2005)
- 波多野隆介: 土壌の構造と機能, 177-192、三枝正彦・木村真人編、土壌サイエンス入門、文永堂出版、東京(2005)
- 2003 波多野隆介: 農耕地からの亜酸化窒素、メタン放出のモニタリング、生物の化学 遺伝、別冊 17号、69-77、裳華房、東京(2003)
- 2002 波多野隆介: 土壌植物系における炭素循環モニタリング、長谷川周一ら編、環境負荷を予測する—モニタリングからモデリング—、日本土壌肥料学会監修、175-189、博友社、東京(2002)
- 波多野隆介: 暗渠排水を利用した硝酸溶脱のモニタリングとモデリング—灰色低地土タマネギ畑におけるケーススタディー—、長谷川周一ら編、環境負荷を予測する—モニタリングからモデリング—、日本土壌肥料学会監修、57-71、博友社、東京(2002)
- 波多野隆介: 土壌物理用語事典、養賢堂、東京(2002)
- 波多野隆介: 根圏への養水分の移行、植物栄養・肥料の事典、植物栄養・肥料の事典編集委員会編集、34-37、朝倉書店、東京(2002)
- 1999 波多野隆介: 農業に由来する環境負荷と農地の環境容量、北海道の土壌肥料、日本土壌肥料学会編、p236-239、北農会、札幌(1999)
- 1998 波多野隆介: 土壌調査、土壌構造、根の事典、根の事典編集委員会編、p246-248、p248-250、朝倉書店、東京(1998)
- 波多野隆介: 土は植物へ水と空気を送る、土と食糧、日本土壌肥料学会編、47-50、朝倉書店、東京(1998)
- 波多野隆介: 植物生育と土の構造、植物生産学(Ⅱ)土環境技術編、松本聰、三枝正彦編、5-35、文永堂出版、東京(1998)
- 波多野隆介: 土と植物、佐久間敏雄、梅田安治編著、土の自然誌、45-54、北海道大学図書刊行会、札幌(1998)
- Hatano, R. and Booltink, H.W.G.: Using fractal dimensions of stained flow patterns in clay soils to predict bypass flow. In: P. Baveye, J.-Y. Parlange, B.A. Stewart (eds) "Fractals in Soil Science", CRCpress, Boca Raton. 262-288(1998)
- 1997 波多野隆介: 孔隙構造、TDR法、土壌環境分析法、日本土壌肥料学会監修、30-32、62-64、博友社、東京(1997)
- 波多野隆介: 土の三相(固相・液相・気相)、土の環境圏、岩田進午、喜田大三監修、48-60、フジ・テクノシステム、東京(1997)
- 波多野隆介: 土壌の物理性、久馬一剛編、最新土壌学、96-117、朝倉書店、東京(1997)
- 1994 波多野隆介: 有効土層、土壌調査、森田茂紀他編、根ハンドブック、121-122、221-222、

- 根研究会、東京(1994)
- 波多野隆介: 塩濾過, 拡散, 曲路率, 水理学的分散, 粗孔隙, 置換流出, バイパス効果,  
1993 閉塞孔隙, 溶質輸送, 流出曲線, 久馬一剛他編, 土壌の事典, 45, 59, 96, 190, 225,  
247, 383~384, 440, 495~499, 514, 朝倉書店, 東京. (1993)
- 波多野隆介: 養分の移動, 「土の世界」編集グループ, 土の世界—大地からのメッセージ  
1990 —, 59~62, 朝倉書店, 東京(1990).
- 波多野隆介: 土壌中における水と溶存イオンの挙動とその定量化, 農業環境技術研究所  
1987 編 環境中の物質循環, 農業環境研究叢書第2号, 230~267 (1987).
- 波多野隆介: 土壌中におけるイオンの挙動, 日本土壌肥料学会編、移動現象—土壌をめ  
ぐるエネルギーと物質の転流—, 41~82, 博友社, 東京(1987).
- 波多野隆介: 水溶性陽イオン、水溶性陰イオン、日本土壌肥料学会監修、土壌標準分析・  
1986 測定法、23章、24章、135~139、140~149、博友社、東京。(1986)

#### 総説・講座・資料

- Hatano R, Miyata A, Saegusa T, Hojito M, Kawamura O and Mitamura T: Brief Results of a  
2008 Research Project “Establishment of Good Practices to Mitigate Greenhouse Gas Emissions  
from Japanese Grasslands” AsiaFlux Newsletter, No.27 (2008)
- Hatano,R: Introduction to a Japanese Research Project on “Establishment of. Good  
2006 Practices to Mitigate Greenhouse Gas Emissions from Japanese Grasslands”. AsiaFlux  
Newsletter, No.17.11-13(2006)
- 波多野隆介: シベリアタイガ永久凍土地帯における環境変動の兆候の広域評価、学術月  
報 59、449-453(2006)
- 木村園子・ドロテア・岡崎正規・波多野隆介: 広域における窒素循環—評価の現状と今後の  
展望, 土肥誌, 77, 351-360(2006)
- 波多野隆介: 土地利用解析と窒素収支法による河川水質評価、土壌の物理性、99、  
2005 21-28(2005)
- 波多野隆介・長谷川周一・加藤英孝・谷山一郎: 土壌物理, 土壌肥料学会部門別進歩総  
説, 土肥誌, 76, 689-697(2005)
- 波多野隆介・犬伏和之・八木一行・秋山博子・新藤純子・岡本勝男・川島博之・長谷川周一・  
木村真人: 農業生態系からの環境負荷の測定と予測, 土肥誌, 76(2), 229-235(2005)
- 波多野隆介: わが国の土壌物理の発展を願う、土壌の物理性、98、1-2(2004)
- 波多野隆介: 地域における窒素循環と流出のモニタリングに関する研究, 土肥誌, 75(5),  
553-556(2004)
- 波多野隆介・犬伏和之・澤本卓治・白戸康人・中原 治・松森堅治: 環境負荷予測への土  
壌学的展開, 土肥誌, 75, 283-290(2004)
- 波多野隆介: 地域における食糧の生産と消費に伴う窒素の循環と環境への流出, 農業お

- よび園芸, 77(12), 1301-1309 (2002)
- 波多野隆介・加藤英孝・長谷川周一: 土壤物理, 土壤肥料学会部門別進歩総説, 土肥誌, 73, 601-608 (2002)
- 2001 波多野隆介, 岡崎正規, 藤井國博, 楊 宗興, 谷山一郎, 乗木新一郎, 木村真人: 環境負荷と物質循環—モニタリング・モデリング, 土肥誌, 71, 824-832(2001)
- 2000 波多野隆介: ペドメトリックス—その理論と応用—2. 土の顔、ミクロで見てもマクロで見ても金太郎飴: フラクタル, 土肥誌, 70, 914-919(2000)
- 波多野隆介・岡崎正規・松本成夫・志村もと子・森田明雄・河野憲治・粕淵辰昭: 栄養塩流出—モニタリング・モデリング, 土肥誌, 70, 755-760(2000)
- 波多野隆介: 物理性-大小の孔隙、土壤構造の発達が水と空気の動きを左右する、特集「土」、サイアス Oct., 76-78(2000)
- 袴田共之・波多野隆介・木村真人・高橋正通・坂本一憲: 地球温暖化ガスの土壤生態系との関わり 1. 二酸化炭素と陸域生態系, 土肥誌, 70, 263-274(2000)
- 1999 波多野隆介: 土地利用型農業における環境負荷の特性解明と制御、土肥誌 70, 452-459(1999)
- 波多野隆介・加藤英孝・長谷川周一: 土壤物理、土壤肥料学会部門別進歩総説, 土壤肥料学雑誌, 70, 605~610(1999)
- 波多野隆介: 書評”豊かな土づくりをめざして—環境土壌学—”土肥誌, 70, 282(1999)
- 1996 波多野隆介: 陸域生態系の農業利用と環境容量に関する一考察、北海道土壤肥料懇話会第 42 回シンポジウム, 土壤肥料研究通信, 73~75 (1996).
- 波多野隆介: 根の伸長を予測する土壤の物理性、農業および園芸, 71, 619-624(1996)
- 波多野隆介・長谷川周一・粕淵辰昭: 土壤物理, 土壤肥料学会部門別進歩総説, 土壤肥料学雑誌, 67, 465~469(1996)
- 波多野隆介: 緑を支える土壌、都市緑化技術, 23, 3(1996)
- 波多野隆介: 書評”土壤物理環境測定法”、土壌の物理性、73, p64(1996)
- 波多野隆介: 農の明暗を思う、化学と生物, 34, 491(1996)
- 1993 波多野隆介: 土壌中の物質移動プロセス理解のための経験則の必要性、土壌の物理性, 67, 39~41(1993).
- 岩間秀矩・長谷川周一・波多野隆介・粕淵辰昭: 土壤物理, 土壤肥料学会部門別進歩総説, 土壤肥料学雑誌, 64, 483~492(1993).
- 波多野隆介: 根はりにおける土壌粗孔隙の役割, 根の研究, 2, 44~50.(1993)
- 波多野隆介: 畑土壌の硝酸態窒素供給様式についての一考察, 北海道土壤肥料懇話会第 36 回シンポジウム, 土壤肥料研究通信, 59~68(1989).
- 1988 波多野隆介: 土壌中の水とイオンの移動, その不均一性解明へのアプローチ, 化学と生物, 26, 316~317(1988).
- 1986 波多野隆介: 土壤構造を考慮した物質移動の解析, 国立公害研究所第2回土壌・地下水

汚染シンポジウム報告, 83～99(1986).

波多野隆介: イオンクロマトグラフ分析法の理論と実際(2) — 土壌・植物への応用例 —, 土肥誌, 57, 518～520(1986).

波多野隆介: イオンクロマトグラフ分析法の理論と実際(1) — 基礎理論 —, 土肥誌, 57, 421～424(1986).

1984 波多野隆介: 畑地における水フラックスと窒素の挙動, 北海道土壌肥料懇話会第31回シンポジウム, 土壌肥料研究通信, 49～62(1984).

波多野隆介: 物質移動, 土壌の物理性, 50, 62～67(1984).